

やわらぎ歯科会通信

第 31 号

平成15年
12月20日号

編集発行人
やわらぎ歯科診療所
藤田和也
編集者
山下剛史

入れ歯も立派な

再生医療の仲間

世の身重を畏れず、まもとも入れ歯で悩む人は多いようです。かつてアメリカのワシントン大統領も入れ歯がかみ合わずいつも機嫌が悪かったと言われています。

入れ歯で困ることは、「歯ぐきに当たって痛みが出る」「くっつきが悪くてはずれやすい」「前歯や奥歯でうまくかみ切れ」といったことのようにです。それを解決するために、色々な製品が研究開発されています。その一つに、もともとあった歯の位置を理想的に再現する**咬み合わせ治療器（咬合器）**や咀嚼運動に適合した**総入れ歯用の人工歯**があります。これらは、

効果的に咬みこなせることと入れ歯の安定化に寄与します。

また、歯ぐきに触れる部分に使う粘弾性という特殊な性質をもつ材料も開発されました。これは、ある程度の軟らかさがあるのに強くかんでも痛みがでにくく、入れ歯がよくくっついてはずれにくいのが特徴です。

以上のような新しい材料はまだ健康保険治療の適応ではありませんが、咀嚼機能を維持することとは、アルツハイマー病などの老人性痴呆の予防につながることも、歯の全身の健康に対する役割が、科学的に明らかにされています。現在、新しい技術や材料を用いた治療を受けることによって、今ある悩みを幸せに変えてみられたいかがでしょうか。皆様すべての方がお正月のおせち料理をおいしく食べられたらいいと一念じております。

早いもので、今年もあと十日あまりとなりました。今日は強い冬の気圧配置となり、広島市内（南区）でも初雪が降りました。本格的な冬の到来と共に、新しい年が始まります。

今年一年、皆様にとつてどのような年でしたでしょうか。

そしてやがて迎える二〇〇四年、平成十六年、申年。皆様にとつて良い年でありますように。やわらぎ会通信も、より皆様に身近な情報の提供が出来るよう、また、患者様からの貴重なご意見も頂きたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



たばこと歯周病

たばこを吸うと身体の中（はぐきの中）で何がおこるのでしよう。

ニコチンの薬理作用が主となり、はぐきへの血行障害を起し、歯周病になりやすい状態にさせます。また歯周病菌を殺す白血球の機能を著しく低下させるため歯周病を悪化させます。

さらに厄介なのは、歯周病が進行してもはぐきの腫れなどの炎症症状が表だつて現れにくく歯周病の初期症状が自覚されにくいことです。

…ということとは歯周病にかかっていることに気付くのが遅れ、その分、歯周病が進行しからの治療となります。

一日でも一年でも早くたばことさよならできたら、歯が一日でも一年でも長くもつのではないのでしょうか。

ぺぱーみんと

僕は猫。名前はモモ。男の子なのに獣医の見誤りでご主人様に女の子と告げられ、かわいい名前がついてしまった。最初は産

毛も白くて（雑種だけどヒマラヤンぽい）モモがびつたりで僕も満足していた。みんなからモモちゃんと呼ばれて居心地も良かった。半年が過ぎた頃、僕の体のある部分に変化が見られ、さすがのご主人様もこれは！と気付き、病院に連れて行かれタママを抜かれてしまった。でも名前はモモちゃんのまま。お隣さんには、モモ太郎になったんか！といわれてしまうし（ほっといてくれ）。すくすく育った今、先日の体重測定で8キロと告げられた。風格も出てきたけど、モモのまま。モモちゃんと名前を呼ばれると気恥ずかしいけど、つついしつぽを振つてしまふんだな。▼なぐんて思つてるわけないか…。陽だまりで昼寝をしているウチの猫をみるとそんなことを思う師走の一日でした😊



※同封していますレセプト（保険診療報酬の明細）のコピーは平成十五年十一月にお受けになられたものです。自由診療のみの方には、同封されていません。
【患者様からのご意見・ご投稿を受け付けています。手紙・はがき・メールでどうぞ。 yawaragi@fujita.gr.jp】